

# ちくさえとこ通信

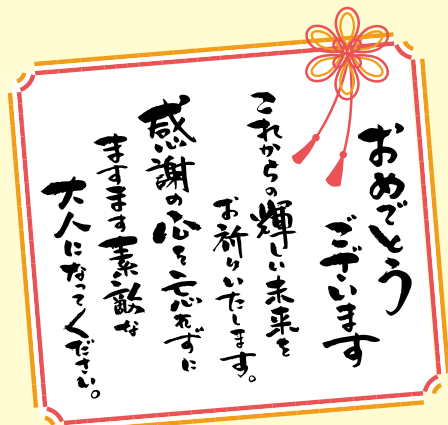
No.26

2024.1.15 発行

祝 令和6年ちくさ二十歳(はたち)の祝典



▲千種幼稚園



▲千種杉の子保育園

1月2日にライブラリーちくさで「二十歳(はたち)の祝典」が開催されました。おめでとうございます。

ちくさえとこネット▶





# ちくさ杉の子こども園

2学期は行事が盛りだくさんでした。運動会、ふれあいフェスタ、園小中高ふれあい文化祭で5歳児が和太鼓を勇ましくたたき、3、4歳児も一緒によさこいを踊りました。高校生との交流で太鼓を見させてもらったり、一緒にたたいたりして、貴重な体験ができました。

めっちゃくちゃ  
大きい  
太鼓やなあ



どんな音が  
するんやろ  
せ~の

3、4、5歳児は、お話広場（小学4年生）やふれあい交流（中学9年生）と一緒に絵本をみたり、「だるまさんがころんだ」や「風船運び」をしたりと楽しい時間を過ごすことができました。



体験学習で、新幹線に乗れることになりグループで新幹線について調べました。（5歳児）



図書館で新幹線の本を借りました。



牛乳パックで座席の大きさを測ったよ。



先頭車両には、運転席がありました。



キティちゃんの新幹線に乗りました。

「いらっしゃいませ〜」「どれにしますか??」  
2歳児はお店屋さんごっこをしました。



色々な行事を経験したり体験したりするたびに、ひとまわりもふたまわりも大きく成長した2学期でした。

## ちくさを学ぶ ちくさで学ぶ

「ちくさの人やもの」とかかわって学び  
「ふるさと千種」を愛する心を育てています

## 千種小学校



2学期は修学旅行に運動会、文化祭や見学旅行など子どもたちの大好きな行事が目白押しでした。とりわけ福祉体験や生産者さんとのふれあい給食、卒業証書作りやしめ縄作りなどは、地域のみなさまのお力添えなしでは実施することができませんでした。子どもたちが笑顔で過ごせたのも、ご家庭、地域の皆様の温かい見守りとご支援のおかげです。本当にありがとうございました。3学期もどうぞよろしくお願いいたします。

### ☆2学期の様子☆



4年生森林の体験（波賀小学校と）



1・2年生「命の授業」



5・6年生「がん教育講演会」



1・2・3年生鳥取空港見学旅行



6年生卒業証書用三叉剥ぎ（吉留さんと）



3年生環境体験（山崎町好古館）

わ  
れ  
ら  
ち  
く  
さ  
っ  
子



# “らしく”輝け～千種中に大きな虹を～ 千種中学校

本年度は、園小中高連携行事をすべて行うことができました。子どもたちの元気な姿を地域のみなさまにも見ていただき、千種町を盛り上げることができたのではないかと思います。また、千種学において千種のすばらしさを学び、ふるさと愛を高めました。

「らしく”輝け”のスローガンのもと、一人ひとりが自分らしさを出し、友達を認めあい・励ましあいながら体育祭や文化祭でのパフォーマンス、演技、合唱を行いました。

3学期は、7年生は先輩へ、8年生は最上級生として学校の顔になるための準備をします。そして、9年生は、新たな道を切り拓くときがやってきます。これからも家族や地域のみなさまに支えられていることに日々感謝しながら、千種中学校みんなで頑張っていきます。



【中高交流授業 (アユの解剖・7年)】



【たたら製鉄実習 (8年)】



【地域学習 千種学講座 (9年)】



【千種学 しめ縄づくり】



【小中高合同稲刈り (9年)】



【情報モラル教育講演会 (8・9年)】



【ようこそ先輩講演会 藤原嘉騎さん】



【第7回中高合同体育祭 (ダンス)】



【第13回園小中高合同ふれあい文化祭 (全校合唱)】



## 千種高校

### 台湾修学旅行

海外への修学旅行が復活しました。異文化に触れることは、ものの見方や考え方に変化をもたらすだけでなく、キャリア教育の一つとして意義深いものです。



### 6次産業化体験プロジェクト

味噌づくりや甘酒を調味料としたスムージーづくりに挑戦。スムージーは商品化をめざしています。発酵をテーマに専門家や生産者と交流し、教科の枠を越えた実践的な学びに取り組んでいます。



### しそく職業人インタビュー

穴粟で活躍されている方や穴粟に所縁のある著名人に、生徒が対面や遠隔で直接インタビューし、職業についての理解を深め、対話力の醸成を図りました。



### 青年期人権教育

人権教育のひとつとして中学校との合同で車いすラグビー体験を行いました。日本車いすラグビー連盟理事を講師に迎え、共生社会に必要な考え方や人間性について学びました。



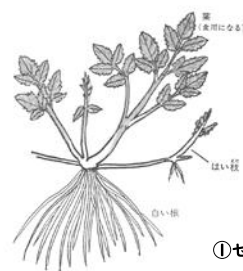
## 春の七草

昔から「春の七草」と呼ばれる七種の草があります。昔の人は、正月7日の朝「春の七草」を摘んできて、七草がゆとして祝うならわしをもっていました。百人一首にも

「君がため 春の野に出でて若菜摘む わがころもでに雪は降りつつ」の唄ものこされています。また七種の草は、「セリ、ナズナ、オギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロこれぞ七草」と歌われて、今日に伝わっています。

### ① セリ (セリ科)

初春のセリは柔らかく香りも高いので、多くの人に好まれています。花は小さくて白く、夏にびっしりと咲きます。



①セリ

### ② なずな (アブラナ科)

なずなは、道端や野原などにごく普通に咲く野草です。花の形は十字形をしていて、たくさんの白い花をつけます。花が済むと三角形の実をつけますが、その実が三味線のバチに似ているので、別名「ぺんぺん草」と呼ばれています。



②なずな

### ③ ほおこぐさ (キク科)

オギョウは漢字で「御行」と書きます。これを「ゴギョウ」と呼ぶのは正しくありません。この草は今日では「ほおこぐさ」と呼ばれています。ホオコグサをハハコグサと言うようになったのは、名前をもじってのことですが、あくまでもホオコグサを正しい名前としなければなりません。



③ほおこぐさ



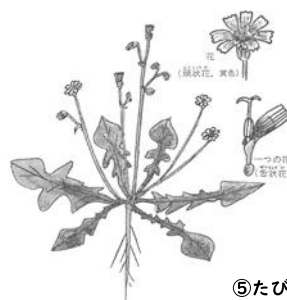
④はこべ

### ④ はこべ (ナデシコ科)

ハコベラは昔の呼び名で、今日で云う「はこべ」のことです。はこべはナデシコの仲間、春先、小さい白い花を咲かせます。はこべの花を見ると花びらが10枚あるように見えるのですが、実際は5枚です。1枚の花びらが深く裂けているのです。

### ⑤ たびらこ (キク科)

ホトケノザは、今日のホトケノザではなく、タビラコと言う草のことです。タビラコは、田の泥土の上に平たくへばりついたようにはえています。葉の形が仏様が座る蓮の花の座に似ていたため「仏の座」と呼ばれていました。ところが、何時の頃からか、タビラコではないシソ科の別のホトケノザが市民権を得てしまいました。話がややこしいですが、春の七草のホトケノザは、あくまでもタビラコのことです。



⑤たびらこ

### ⑥ すずな (アブラナ科)

すずなは、野菜のカブラまたはカブのことです。古い時代に中国から来ました。三国志で有名な諸葛孔明が、成長の速いカブを育てて兵糧にした話は有名です。

### ⑦ すずしろ (アブラナ科)

スズシロは、ダイコンの古い名前です。さらに古くはオオネと呼ばれていました。文字通り「オオネ(大根)=ダイコン」です。地中海地方で栽培されていた大根がシルクロードを通過して日本に伝わり、春の七草に数えられる。なんちゅうかロマンですよ！



⑦すずしろ (ハマダイコン)

(春名 勉)



注：今回の「春の七草」は、すべて牧野富太郎植物記（あかね書房）からの引用です。





下河野、道の駅「ちくさ」の道向かいに素敵なカフェができていますのご存知でしょうか。猶原幸美さん・千恵さん姉妹が、「Cafe ばあちゃん家」を昨年の8月8日にオープンされました。

実は、千恵さんはジャズ歌手で、2年ほど前から下河野で月1回のライブを開催されていました。ライブに来てくださる方から、「よりどころがあったらな」とか「お茶を飲みながら、お喋りする場所が欲しいな」などといった多くの声を聞かれたといえます。猶原さんのご両親が以前、商売をされていたこともあり、「みなさんに楽しんで欲しい」そして、「ここでゆっくり休んで欲しい」という、姉妹の思いが募っていきます。そこから申請関係など色々なことが、思いもよらずトントン拍子に整い、カフェのオープンに至ったそうです。「知り合いやその道の匠など、本当にたくさんの方々には助けられました」と、幸美さんはみなさんへの感謝を口にされます。

店内はその名の通り「ばあちゃん家」に来たような、どこか懐かしい感覚でついつい時間の経つのを忘れてしまいます。心地よい JAZZ が流れていて、とてもおしゃれな雰囲気。それは、猶原姉妹から放たれる空気感なのでしょう。

地元の食材・水を使い、手作りにこだわったモーニングは、「パンモーニング」「おにぎりモーニング」「ミックスモーニング」の3種類。このボリュームで300円というから驚き!! 飲み物も全て300円。そして、なんと、一日中モーニングを提供されています!



パンモーニング



われもこうの会展示即売会

店内には常時、手芸グループ「われもこうの会」の手芸作品が展示されていますが、これも色々な縁が重なって、展示から販売に至りました。昨年の12月8・9日には「展示即売会」が行われて、連日とても多くの来店者で賑わいました。

カフェの他に毎週水曜日、「ワクワク発声教室」を開かれています。10時/14時の2コマ(1時間1,000円)の予約制、『ワクワクと楽しく声を出して心も体も元気に』なりましょう! 興味のある方は、ぜひお問い合わせください。

みなさん、ぜひ一度「Cafe ばあちゃん家」を訪れてみてください!




## 【cafe ばあちゃん家】

- 場 所：千種町下河野 745-18
- 営 業 日：月・火・木曜日
- 営業時間：10時～16時
- 連 絡 先：0790-76-2230



## ペンリレー 第15回

谷本真紀さん **Q** 自己紹介

谷本 真紀 (44 歳) みつき (17 歳) の母です

**Q** お仕事は何をされていますか？

千種のローソンで働いています！

**Q** 趣味は？

川や海で 心惹かれる石を見つける事です。

**Q** 何をしている時が一番楽しいですか？

家族と過ごす時間です。  
ご飯やお菓子を一緒に作ったり、アクセサリーや小物を一緒に作ったり、協力してゲームをしたり、ゴロゴロ一緒に昼寝をしたり…そんな日常のありふれた時間を家族と過ごせる事が幸せです。

**Q** 夢は何ですか？

ツリーハウスや秘密基地を作りたいと思いながら、いいおばちゃんになってしまいました。この先、機会があれば簡単なものでいいので チャレンジできたらいいなと思います！

**Q** 千種町への思いは？

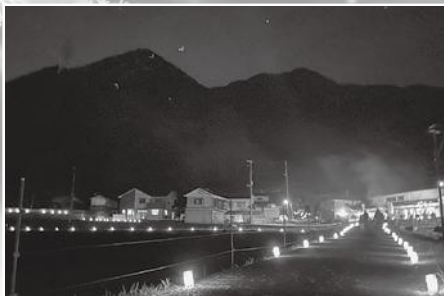
子育てする中で、たくさんの方々に支えて頂き 何度も『ああ～千種ってええなあ』と感じました。千種の人へのぬくもりを伝えていける一人に、私もなれたらいいなと思います。

**Q** 次回の紹介者は？

寺町 郁美さんです。



# キャンドルナイト IN七野



12月9日土曜日、七野自治会が町内外から来られた多くの方で賑わいました。前回「キャンドルナイト」が行われたのは2022年2月で、昨年度は天候不順のため2度の延期の末、残念ながら中止に…。今年度は12月に企画し、中土井集落の有志数名でペットボトルとロウソクで作った灯籠に灯りをともし『キャンドルナイト IN 七野』を実施されました。

18時頃には辺りはすっかり暗くなり、約1キロの「七野銀座通り」に約800個のキャンドルが灯されました。県道から見ると集落全体が幻想的に浮かび上がってとても綺麗でした。

cafe 遊樂里では炊き出しもあり、来場者にあたたかい豚汁や手造りのお総菜、ジビエやご近所さんからのおかきなどが振る舞われました。たき火の周囲では、「来年のイベントはこうしたい」とか「地域をもっと盛り上げよう」、「蛭をもっと増やしたいな」などといった前向きで楽しい会話が弾んでいました。

こういった地域を元気にする活動が、どんどん広がって行って欲しいですね！  
(キャンドルナイトは、募金箱への寄付で成り立っています)







## ～千種まちづくり推進委員会から～

平成25年に発足した「千種まちづくり推進委員会」(まち推)は、ちょうど10年という節目を迎えました。全国的に少子化・高齢化が進む今日、千種町の人口は、3358人から2538人へと約800人減少しました(令和5年3月末)。行政による財政や人材不足等に伴う公共サービスの限界が見えるなか、地域課題や困りごとなど、私たちの日常的な暮らしの維持も難しくなることが予測されます。

令和元年には、「まち推・連合自治会・市民局」の三者による連絡会議を発足し、課題や困りごとの解決に取り組んでいくためにどんなまちづくりを目指していけば良いのか、兵庫県地域再生アドバイザーを招いて議論を始めました。

令和2年には、地域の困りごとや課題を分かりやすく見えるようにするため、連合自治会との連携により「まちづくりアンケート」を実施しました。みなさんのご理解と各自治会・隣保長のご支援により、とても高い回収率となりました(92.3%)。

令和3年、実施したアンケート調査の結果を「アンケート報告会」でみなさんに示し、千種の現状と将来像について参加者で意見交換を行いました。

それ以降、コロナ禍と重なりなかなか集まることができませんでしたが、これまでに3回の「ちくさえとこ未来会議」を開催してきました。<令和4年3月、11月、令和5年8月>

未来会議では、まちづくりアンケートを基にして興味・関心のあるテーマ毎に意見を交わしました。第3回では、市の担当者から、昨年策定された「宍粟市参画と協働のまちづくり指針」についての話がありました。現在、千種と繁盛がモデル地区として取り組みを進めています。



<宍粟市参画と協働のまちづくり指針>

まちづくりアンケートやこれまでに色々なテーマで意見交換した内容を集約し、現在、『まちづくり計画書』にまとめているところです。それと同時に、今後、「みんなが楽しく参加できるまちづくり」を目指すために、まち推の組織体制についても検討を進めています。

暖くなる頃には、4回目となる「ちくさえとこ未来会議」を開催し、みなさんに意見をいただきたいと思いますので、ご参加をお待ちしております!



### ★ええとこフリマ★

11月28日に大通り広場で【ええとこフリマ】が開催されました。野菜やお総菜、小物にアクセサリー、古本や食器など様々な出店がありました。冷たい風が吹く中でしたが、たくさんの来場者があり大いに盛り上がりました。冬季はお休みしますが、常時出店者を募集していますので、興味のある方は「ちくさえとこセンター」までお問い合わせください!(☎ 0790-71-0230)





# 【第19回タイガースカップ2023】

西河内 岡 勇心くん (千種中2年)



## 出場&優勝!!



【第19回タイガースカップ2023】が、去る11月23、26日、12月2日に阪神甲子園球場で開催されました。タイガースカップは、近畿2府4県のシニアリーグ・ボーイズリーグ・ヤングリーグ所属の中学2年生以下12チームによるトーナメント方式で、中学生硬式野球の関西No.1を決める大会です。

この大会で、西河内の岡勇心くんの所属している「兵庫夢前ヤング」が、史上最多2年ぶり4度目の優勝を果たしました。副キャプテンを務める岡くんは、投手としてもチームを牽引しました。

岡くんは初戦で先発し、3回無失点。準決勝では、5回から7回までマウンドに立ち、無失点。同日行われた決勝戦でも先発し、6回を無失点に抑える好投を見せました。けが明けでの登板でしたが、持ち前の粘り強さでホームは踏ませず、チームの優勝に大きく貢献しました。

夢前ヤングは夢前町のグラウンドで毎週火木金、土日祝と活動しており、練習が休みの日も自主トレーニングに余念が無いといいます。今後の岡くんの活躍がとても楽しみです！



## ♡ こんにちは 赤ちゃん ♡

**赤ちゃん写真大募集!**  
新しい可愛い家族を紹介してください。



河内  
大前 ちはや 智颯ちゃん

【メッセージ】 毎日かわいい笑顔を見せてくれてありがとう。お姉ちゃんと仲良く元気に育ってね。  
(父：智和さん 母：香苗さん)



七野  
春名 ジョサヤちゃん

【メッセージ】 ジョサヤが愛と共にありますように。

(父：将資さん 母：はなさん)